

# ホタテガイ養殖管理情報

中層の水温が断続的に23℃を超えているため、成貝・新貝の施設は、水温の低い下層へ沈めて安定させましょう。  
また、水温が26℃を超える時は、稚貝採取をやめましょう。

## 1 海況

8月16日～22日の各ブイの水温は図1、2のとおりです。

津軽暖流の流れ込みや気温の影響により各ブイの10m層から15m層で水温が断続的に23℃を超えており、蓬田ブイの10m層と15m層、奥内ブイの10m層では水温が瞬間的に25℃を超える日ができました。

また、各ブイの1m層で水温が断続的に26℃を超えており、東湾ブイ、東田沢ブイ、清水川ブイ、横浜ブイ、浜奥内ブイの1m層では水温が瞬間的に28℃を超える日ができました。

## 2 今後の養殖管理の注意点

**成貝・新貝は、水温が23℃を超えるとへい死する**恐れがあります。施設をできるだけ水温の低い下層に沈めて安定させましょう。

**稚貝は、水温が26℃を超えるとへい死する**恐れがあります。水温には十分注意し、26℃を超える場合は、稚貝採取をしないでください。

**海況自動観測ブイならびに水温自動観測ブイの水温は下記（ホームページ、QRコード）を参考にし、また、タライや水槽の水温を計る**ようにしてください。

26℃以下でも稚貝採取を行う場合には以下の点に気をつけてください。

- ・ **早朝の涼しい時間帯**に行い、シート等で**直射日光を避ける**。
- ・ 水温が高いと酸欠にもなりやすいので、海水はできるだけ**水温の低い深い水深からくみ上げて**使う。
- ・ タライや水槽の**海水はかけ流し**にするか、**頻繁に交換**する。
- ・ 稚貝は乾燥にも弱いので**作業は手早く**行う。
- ・ 採取後の稚貝が足糸でネットに付着しているかどうか見ながら作業を進める。
- ・ 水深が浅いほど水温は高く、潮も速いので、**採取後は施設を中層以深に沈めて安定**させる。

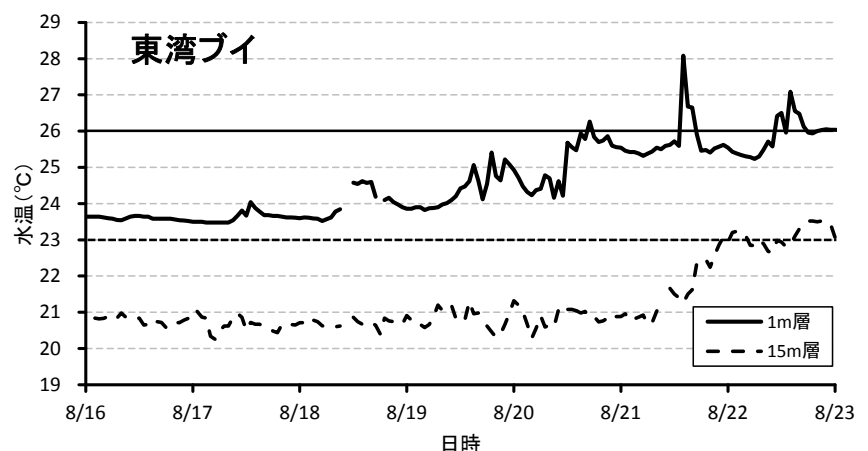
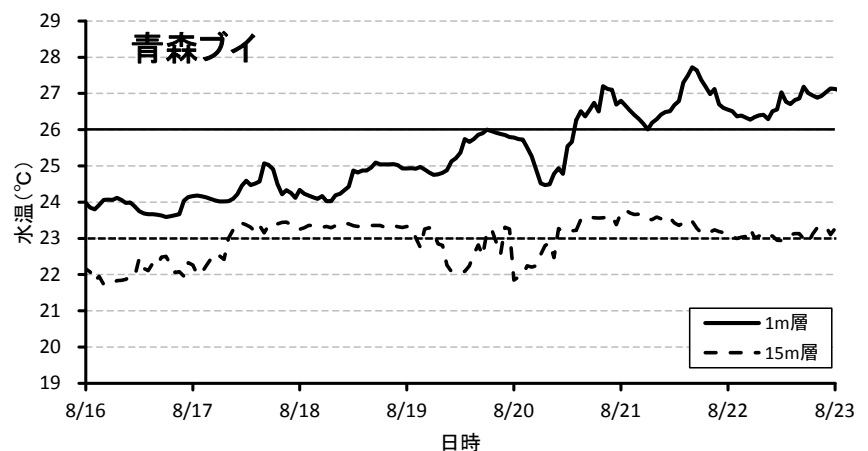
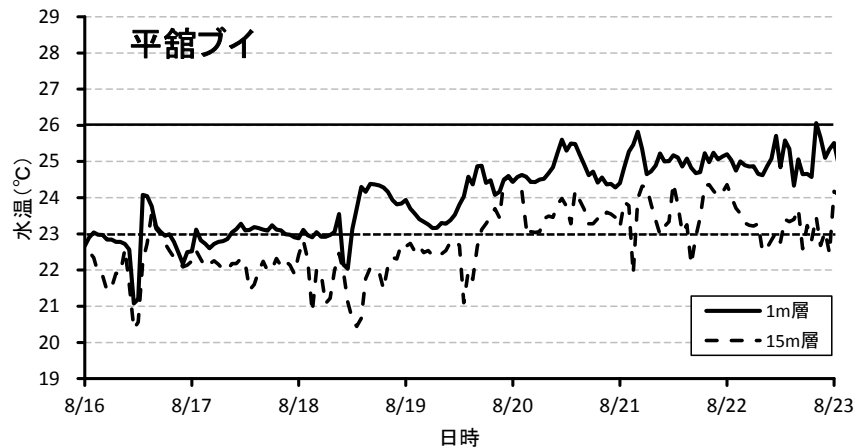


図1 海況自動観測ブイでの1m層および15m層の毎時の水温変化

発行元：地方独立行政法人  
青森県産業技術センター 水産総合研究所  
住所：青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10  
TEL：017-755-2155 FAX：017-755-2156

陸奥湾海況自動観測システムホームページ  
ホームページURL：<http://www.mutsuwanbuoy.jp>  
携帯電話URL：<http://www.mutsuwanbuoy.jp/mobile/top.php>



ユビキタスブイシステムホームページ  
ホームページURL：<http://buoy.jp>  
携帯電話URL：<http://buoy.jp/mobile.html>



蓬田、東田沢  
清水川、横浜  
川内、脇野沢